

2025年度 第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報

令和7年12月26日付けで、「2025年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報（2026年1月～6月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産資源研究所が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、マサバ・ゴマサバの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に関係する予報が出されたのは、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ及びゴマサバで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2026年1月～6月）〉

- マイワシ**（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）
 - (1) 来遊量：前年を下回る。
 - (2) 漁期・漁場：1 そうまきの漁場は、1月～5月は犬吠埼沖～三陸南部海域で形成され、6月以降は犬吠埼沖～三陸北部海域、6月下旬には道東海域でも形成される。2 そうまきの漁場は、期を通じて房総海域～鹿島灘に形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。
 - (3) 魚体：10cm～15cm 前後（1歳魚）、14cm～18cm 前後（2歳魚）、15cm～19cm 前後（3歳魚）、17cm～21cm（4歳魚）、19cm 以上（5歳以上）。まき網では2歳魚～4歳魚主体。
- カタクチイワシ**（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）
 - (1) 来遊量：房総海域では低調であった前年並。三陸南部海域～仙台湾では前年並～上回る。常磐海域、三陸北部海域および道東海域では、主たる漁獲対象とならない。
 - (2) 漁期・漁場：房総海域の2 そうまきでは期を通じて漁獲される。三陸南部海域～仙台湾の定置網では1月に終漁し、4月に初漁となる。1 そうまきの主な漁獲対象にはならない。
 - (3) 魚体：9cm～12cm の1歳魚を主体に、10cm～13cm の2歳魚が漁獲される。
- マサバ及びゴマサバ**（対象海域：犬吠～三陸海域 対象漁業：まき網、定置網、底曳網）
 - (1) 来遊量：マサバはまき網では極めて低調であった前年並、定置網、底曳網では前年を下回る。ゴマサバは混獲される程度で低水準。サバ類全体としては低調であった前年並。
 - (2) 漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠埼沖～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網、底曳網ではマサバは1月、2月および4月以降に漁獲され、ゴマサバは5月以降に漁獲される。
 - (3) 魚体：マサバは期を通じて25cm～38cm（3歳魚、4歳魚）主体に、18cm～30cm（1歳魚、2歳魚）、28cm 以上（5歳以上）も漁獲される。

※ 詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ（https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2025/fri_20251226_ukiuo-pac-2nd.html）に掲載されております。